

高松市生涯学習センター 生涯学習推進事業

「くらしに潜むリスクと対応」を開催しました。

平成30年2月17日（土）、NPO法人日本FP協会香川支部所属のファイナンシャルプランナーでいらっしゃる篠原也寸志さんを講師にお迎えし、「くらしに潜むリスクと対応」講座を開催しました。



私たちの暮らしは、「家計(消費)」、「長生き」、「病気・事故」、「失業」、「災害」など多くのリスクの中で営まれています。

今回の講座は、これらのリスクの中でも、特に毎日の日常生活に潜み誰でもが経験する可能性がある「家計(消費)」、「長生き」について現状や課題を知り、対応する方法等について学ぶことにより、生き生きとした日常生活を送ることができることを目的に開催しました。

「家計(消費)」では、消費生活相談が増加傾向にあることを踏まえ、還付金詐欺や架空請求、オレオレ詐欺などの悪徳商法の事例を紹介するとともに、対応手段としてのクーリングオフの効果や方法についての理解を深めたほか、消費生活センター等の相談窓口を紹介し、「まず相談」の重要性の認識に努めました。

また、「長生き」のリスクについて、老後を自分らしく生き生きと暮らすためには、「健康」、「お金」、「生きがい」、が必要であることを踏まえ、まず、高齢者の今後の推移のほか、平均寿命や高齢者の1人暮らしの伸びが顕著であり、長生きのリスクが増加していることの現状を示しました。

また、75歳を過ぎると介護保険の利用者が急激に増加し、「認知症」が2016年にその要因の第1位となったことから、25年には700万人に達すると見込まれる認知症への対応等について説明する中で「健康寿命」を伸ばすことの重要性に対する理解を深めました。

次に、長生きの大きなリスクとなる「お金」について、人生を通して、多くの方が経験する教育・結婚・住宅・老後生活等における平均的な額を参考に、お金の過不足額を把握するためのキャッシュフロー表を作成する必要性や方法等を理解することにより、「生きがい」の実現や長生きに不可欠な「お金」に関し、根拠のない「不安・楽観」の払しょくに努めました。

また、その結果出てきた老後資金の不足に、自ら主体的に取り組めるよう具体的な「収入・支出」を見直す方法等について理解するほか、まだまだ不安をいだいてる方が多い投資について、リスクの軽減に対する考え方や方策を示し、年齢に応じた資産運用ができるよう努めました。

最後に、今後、ますます厳しくなる経済情勢を踏まえ、家計に影響する主な制度改正を挙げ、それらに適時適切に対応することにより、「くらしに潜むリスク」の軽減に努めながら、生涯を通じ生き生きとした生活が送れるようエールを送り終了しました。